

令和5年度活動重点取組結果一覧表

活動重点 団体名	規範意識向上を目的とする取組の推進	安全情報の積極的収集及び提供の推進	隣近所への声かけ運動の推進	子供・女性を犯罪から守る活動の推進	ニセ電話詐欺被害防止活動の推進	暴力追放の機運を高める活動の推進	独自の活動重点
長崎県退職者連合					県警本部より講師を招き、県下各地より会員100名が参加した「学習会」を実施した。		
長崎県私立幼稚園・認定こども園PTA連合会		○各幼稚園・認定こども園を通じて、地区の警察署等からのメール・FAXによる事案・犯罪予防等の通知を利用した情報収集と各家庭への提供を行った。	○加盟園各園において「あいさつ」の大切さを園児やその家族に伝えていく活動への協力を行った。				
長崎市PTA連合会	○長崎っ子の約束「あ・は・は運動」について再確認し、「メディアルールの徹底」を呼びかけた。 ○「フィルタリング体験会」を実施し、フィルタリング設定の必要性について理解を深めた。 (各PTA) ○メディア関連のPTA役員研修会を開催した。 ○メディア関連のPTA役員研修会を実施し、スマホ等の負の部分を学んだ。	○県警のキャッチくんからの事案・犯罪予防の通知によりPTA会員に周知している。 ○関係機関の会議に出席し、情報を収集している。 (各PTA) ○PTAの役員が地域(自治会・育成協)の諸会議に出席し、情報の収集及び提供に努めている。 ○県警のキャッチくんから情報を収集している。	(各PTA) ○朝のあいさつ運動、声かけ運動を実施している。 ○学校・自治会・老人会等と連携し、「見守りパトロール活動」を実施している。	(各PTA) ○朝のあいさつ運動、声かけ運動を実施している。 ○単位PTAにおいて、学校・自治会・老人会・地域コミュニティ等と連携し、「見守りパトロール活動」を実施している。 ○メディア関連の研修会を実施した。	○特殊詐欺被害防止活動への協力。	○暴力追放「いのちを守る」長崎市民会議の実施。	
ダイヤモンドまちづくり連絡協議会	○毎朝の学童見守り活動では、とにかく元気の良い挨拶を交わす運動を心がけている。初めの頃は言葉が出なかった子も、一学期が終わる頃には殆どの子が出来るようになってくる。自発的に出来るようになるまで根気よく待つことが肝要。強制は逆効果。住宅団地の特性で共働きが殆どで昼間は子供と高齢者。元気な高齢者が安心・安全を担っている	○警察署及び交番からの情報はもとより、県警発のキャッチクンからの情報や、学校の父兄はもとより青パト隊・学童見守り隊のメンバーも学校の緊急一斉メールに登録しているため、緊急時は情報の共有が出来る体制が整っている。	○この団地が出来ておよそ40年。住民は所属する自治会の範囲のことは、隅々まで承知で、住民の移動も少ないので、出かけるときなどはお互いに声を掛け合っている	○子供達の安全対策として、登校時の安全見守り、放課後の青パトに依るパトロール。特に各公園のトイレには気をつけている。夜間は街灯も有るが、管内各戸にお願いして夜間に門灯の点灯をお願いしていて、殆どの家屋が協力してくれている。		○毎年4月に開催される長崎市主催の暴力追放「いのちを守る」市民集会に、青パト隊員3名が参加。集会終了後市内を青パト車で回転灯を点灯して巡回し、帰路につく。	○青パト見守り活動。協議会が発足して間もなくの2005年に大浦警察署のご指導の下スタートした。約30人の隊員で年間200回近く活動。女性隊員も10名ほどが活躍中。 ○高齢者・学童の見守り隊の活動。この活動も2005年に社協ダイヤモンド支部の肝いりで、10名で活動開始当時、諫早と長崎で幼い子が犠牲になる痛ましい事件が続いて、市の教育長から市内の各自治会宛に、子供の安全対策を立ててほしいとの要請がなされた。現在も発足初回からの隊員が二人いて頑張っている。昭和2年と8年生まれ男性。
(公財)長崎県老人クラブ連合会				○単位老人クラブにおいて学校・自治会等と連携し「地域(子供)見守りパトロール活動」を実施している。			
(一財)長崎県地域婦人団体連絡協議会	○ココロねっこパレードへの参加。	○地域の会議や行事に参加したり、あらゆる媒体に関心をもち情報収集に取り組んだ。	○近隣の方へ積極的に「あいさつ」「声かけ」を心掛けた。 ○各地区にて登下校時の「あいさつ運動」や「見守り活動」を行った。	○「子どもを守る長崎ひまわりプロジェクト」への参加。	○広報紙に「事実を誤解させるセールス・電話勧誘」の注意喚起について掲載した。 ○研修会等にて「ニセ電話詐欺被害防止」の啓発を行った。	○ポスターやパンフレット等の掲示及び配布を行った。 ○暴力追放「いのちを守る」長崎市民集会へ参加した。	
長崎県警友会連合会	○各種イベント会場等においてチラシの配付や広報啓発活動を実施した。 ○大型商業施設で万引き事案の発生防止のため防犯パトロールを実施した。	○警察本部及び警察署との協議会や意見交換会を通じて犯罪情勢等の情報を収集し、各種イベントや会合においてチラシの配付等により安全情報を提供した。	○団体関係者が、自治会・老人会活動において暴力追放、関わらない、接触があった場合の通報等の声かけを実施した。	○児童の登下校時の見守り活動により児童の犯罪被害防止に努めた。	○年金支給日における金融機関、ATMの警戒及び利用者へのチラシ配布により被害防止に努めた。 ○各種イベント会場等においてチラシ配付による被害防止に努めた。	○長崎県暴力追放運動推進センター賛助会員に加入するとともに、事務所棟に暴力追放チラシを掲示し、暴力追放の広報啓発活動を推進した。	○警察署長等から委嘱を受けた330人が県下において1,880回、5,312人が児童の見守り活動、各種イベント会場での犯罪防止、交通事故防止の広報、防犯パトロールによる地域の安全・安心活動に従事した。
日本放送協会長崎放送局		○報道機関として、安心・安全につながる正しい情報を取材。いち早く、TV・ラジオ・ネットなどを通じて広く伝えた。					
(株)長崎新聞社		○県内各地にある長崎新聞販売店や配達員が地域の安全情報・危険情報の収集に努めた。県内各地に配置している本紙記者が、警察署などをはじめとする県内各団体が把握している安全・危険情報を収集し、必要に応じて記事化した。		○推進活動の現場を取材し、紙面を通してのPRに努めた。	○これまで同様、ストップニセ電話詐欺のワッペンを紙面上で使用し、注意を喚起。詐欺の手口や摘発を報じた。	○推進活動の現場を取材し、紙面を通しての貢献に努めた。	

活動重点 団体名	規範意識向上を目的とする取組の推進	安全情報の積極的収集及び提供の推進	隣近所への声かけ運動の推進	子供・女性を犯罪から守る活動の推進	ニセ電話詐欺被害防止活動の推進	暴力追放の機運を高める活動の推進	独自の活動重点
(公社)長崎県防犯協会連合会	○住民の規範意識向上を目的に落書き消去ボランティア事業を推進した。 ○令和5年度は、南島原市内のがまだすロード下暗渠と国道下暗渠2箇所において防犯ボランティア、自治会会長会、南島原市少年補導員連絡協議会深江支部など約30名の参加協力により、落書き消去活動を実施して、地域の規範意識を高めた。	○「防犯ながさき」を随時関係機関や配布及びホームページに掲載するなど、情報発信に努めた。 ○安全情報について、県警と随時情報交換を行い、パンフレット等で情報を提供した。		○「防犯ながさき」に子供・女性に対する犯罪防止について、記事を掲載し広報を実施した。 ○子供をネット犯罪から守るためのチラシなどを県下各地区に配布した。	○民放テレビ2局で、ニセ電話詐欺被害防止広報大使の歌手「前川清」出演によるニセ電話詐欺防止のテレビスポットCMを計28回放映して広報した。 ○長崎新聞およびNBCラジオで、ニセ電話詐欺防止の記事や放送を実施した。 ○各地区防犯協会及び県警と合同で被害防止を呼び掛けるキャンペーンを実施した。 ○風俗営業等管理者講習において、ニセ電話詐欺防止事例のDVDで受講者に対する視聴を実施した。 ○県内公共交通機関(4社)のバスにラッピング及び車内防犯ポスター掲示により、被害防止を広報した。 ○県庁の駐車場横断幕掲示場に「STOP!ニセ電話詐欺」を掲示広報した。	○風俗営業等管理者講習会において、暴力追放に関する啓発、広報を実施した。 ○防犯コンクールにおいて「暴力団排除」を課題として募集し、入選作品を表彰するとともに、機会あるごとに広報するなど、暴力追放機運の醸成を図った。	
大村市竹松地区防犯協会	○竹松地区20町内会長一丸となり「かぎかけんば」「ひと声かけんば」「見守りせんば」セーフティモデルタウン計画を継続実施。 ○竹松駅前ふれ愛ステーションを拠点として、20町内会及び富の原小・竹松小・健全協合同による夜間(20時～21時)駅周辺の防犯パトロールと駅乗降者の見守りの実施。	○大村警察署生活安全課・大村市安全対策課と連携し、県警発信のキャッチくんの活用等20町内会長へニセ電話詐欺発生情報を伝える。	○町内会役員及び班長会議、老人定例会において近隣住民及び児童等に対し、「挨拶」運動を積極的に実施。 ○毎週2回実施している青色回転灯付広報車によるパトロールの際は、子ども達に手を振り大きな声で挨拶を実施。	○小学生の下校時間に合わせ、毎週火・木(15時～16時)の間、当防犯協会の青色回転灯付広報車で、パトロールの実施(年間96回延べ210名) ○各町内会独自計画で公園の清掃、樹木の剪定、除草等環境美化活動の実施。	○県警発信のキャッチくんの情報を20町内会長に、啓発活動を実施。	○暴力追放大村市統一パレードに参加し、啓発活動の実施。	○防犯灯の新設。 ・竹松地区防犯協会単独予算で新設5基。 ・大村市連合防犯協会協力予算(竹松地区新設18基)計23基。
長崎県少年補導員連絡協議会	○各地区ごとに随時街頭補導を実施。 ○店舗に対する万引き防止の協力依頼等の実施。 ○学校、駅周辺等における自転車の防犯診断を実施。	○各種非行防止懇談会、会合へ参加し、少年の非行防止・犯罪被害等について広報啓発を実施。 ○各地区の行事等に合わせた少年の非行防止・犯罪被害防止キャンペーン活動を実施。	○児童生徒の登下校時における見守り活動と校区内パトロールを実施。	○少年の非行防止・犯罪被害防止キャンペーン活動を実施。 ○児童生徒の登下校時における見守り活動と校区内パトロールを実施。 ○登下校ルート及び駐輪場等における防犯診断の実施。	○県内のニセ電話詐欺被害状況について研修し、各種会合において広報啓発を実施。		
浦上警察署管内少年を守る母の会連合会	○大人がルールを守り、進んで行動。	○自治会の会議、行事などに積極的に参加。	○登下校時におけるあいさつ、見守り活動を行う。 ○民生委員と協力し、朝のあいさつ運動を行う。				
長崎県二輪車自転車商協同組合	○自転車の盗難防止のための二重ロックを自転車店で説明。 ○自転車の盗難防止と盗難自転車の被害の回復のため、自転車防犯登録の必要性について自転車販売店で説明し防犯登録をしてもらうように努めた。						
(一社)長崎県建設業協会		○「見守り新鮮情報(国民生活センター)」、「もってこいネットワーク通信(長崎県警本部)」、「長崎県消費者被害防止ネットワーク情報(長崎県消費者センター)」の新着情報の所内回覧。HPにてリンク集の掲載。					

活動重点 団体名	規範意識向上を目的とする取組の推進	安全情報の積極的収集及び提供の推進	隣近所への声かけ運動の推進	子供・女性を犯罪から守る活動の推進	ニセ電話詐欺被害防止活動の推進	暴力追放の機運を高める活動の推進	独自の活動重点
(一社)長崎県建築士会			○仕事場への行き帰りでの挨拶が一時期増えてきたが、感染症以降明らかに人と人のコミュニケーションが希薄、あるいは粗雑になってきている。コロナ感染症時に人と人の接触を避けさせた結果が今、明らかに表れている。閉じこもりの影響か、挨拶も減り、声の掛け合いがなくなったように感じる。私は本来東京で生まれ育った人間だが、路面電車やバスなどの公共交通機関車内における声の掛け合いが極めて少ないことが特に気に掛かる。元々おとなしい県民性なのかわからないが、降車の際、黙って後ろから前の人を押し出すような所作が当たり前となっているようで、余所者からしたら少し信じがたい通勤風景である。さらにはマスク着用の弊害で感情がわかりづらくなり、犯罪増加に繋がりがかねない危機感も感じる。コロナ以前に比べると、自分勝手な行動をする人たちが圧倒的に増えた。乗り物に乗る際、並ぶことをせず、我先にドアに集中するなど、社会的一般的マナーを守れない人たちも確実に増えている。注意をしてもそしらぬふりが多い。これは若年層の話ではなく、中高年の話で、このような姿を見た子供がまともに育つわけがない。車の運転も同様で、世間全体が自分勝手、粗雑、粗暴になってきている。人の話を聞かない人間が増えている。また、近年では子供たちに気軽に声を掛けることすら「通報案件」となる事例も増え、さらなる人間関係の危機感を感じる。このような社会風潮がますます子供たちを犯罪に巻き込む環境になりかねないことに危機感を感じた。声掛けがおこないづらい社会に不安を感じる。間違った正義感が増えており、次世代に向けた社会全体の課題であるといえる。このような世の中になり、人としてのコミュニケーションの大切さを皆で一から考え、生きやすい社会が必須である。				
(一社)長崎県警備業協会	○警備業務を通じて、ATMコーナーの警戒及び利用者に対して積極的に声掛けを実施し、ニセ電話詐欺の被害防止に努めた。	○「安全・安心まちづくりパートナーシップ事業所」として、事務所に幟を揚げるとともに、環境美化活動を通じて、地域への安全・安心の提供と、安全情報の収集を推進した。		○地域安全パトロール隊として青パトの登録を行っている警備業者(トラストI)において、長崎市立古賀小学校校区内における見守り活動を実施した。 ○男女共同参画センター等が主催した女性に対する防犯対策や護身術を教えるセミナーにおいて、警備員が講師を務め、犯罪から身を守る活動を推進した。(R5.7.23) ○長崎市内の学童クラブで開催された不審者との遭遇時や地震が起きた場合の身の守り方についての訓練で、警備員が講師を務め、犯罪などから身を守る活動を推進した。(R5.8.21)	○警備業務を通じて、ATMコーナー警戒及び利用者に対し、積極的に声掛けを実施し、ニセ電話詐欺の被害防止に努めた。 ○協会発行の機関誌にニセ電話詐欺被害防止の広報文を掲載したほか、「警備の日」街頭キャンペーンにおいて、長崎県警察本部作成のニセ電話詐欺被害防止のチラシ300部を通行人に配布し、広報啓発活動を実施した。	○暴追センターの理事会に協会会長が出席した。 ○企業等安全対策懇話会に出席し、弁護士による講話等により、民暴追放の機運を高めた。 ○地域安全・暴力追放運動「安全・安心まちづくり長崎県大会」に出席した。	
させば四ヶ町商店街協同組合	○街内放送で繰り返し広くアピールすることで、スケートボード・自転車の通行・歩きタバコが減少した。						
(株)ファミリーマート九州リージョン				○セーフティステーション活動を通して、子ども・女性の駆け込み対応の実施。駆け込みがあった場合は各店にて対応。取組結果は日本フランチャイズチェーン協会に報告。	○お客様への声掛けによる未然防止を推進。→各店舗にて声掛け実施。防止関連掲示物の設置。		

活動重点 団体名	規範意識向上を目的とする取組の推進	安全情報の積極的収集及び提供の推進	隣近所への声かけ運動の推進	子供・女性を犯罪から守る活動の推進	ニセ電話詐欺被害防止活動の推進	暴力追放の機運を高める活動の推進	独自の活動重点
長崎県校長会	○教職員自らが子供たちの手本となるような言動を心掛けるとともに、日頃の学校生活における生活指導により規範意識の向上を図った。 ○問題が起こったら、時機を逃さず指導を行った。	○地域の会議、行事等にはできる限り参加し、情報交換を行った。	○登下校時の挨拶や声掛け等、地域の方にも関わっていただいた。	○自分の身を守ることの大切さを指導した(「いかのおすし」)	○警察からのポスターやパンフレット等を校内に掲示した。	○警察からのポスターやパンフレット等を校内に掲示した。	
長崎県高等学校長協会	○各校の実態に応じて通学バスの乗車マナー指導や登校時の校門指導(挨拶の励行、身なり指導)を実施した。	○学年集会やホームルームにおいて、情報提供し、注意喚起を行った。	○挨拶の励行を心掛けた。	○特に長期休業前に文書を作成し、注意喚起を行った。	○ポスターやパンフレット等の掲示及び配付を行った。	○ポスターやパンフレット等の掲示及び配付を行った。	
長崎県私立中学高等学校協会	○ココロねっこパレードへの参加。	○もってこいネットワーク通信への回覧。					
長崎県私立幼稚園・認定こども園連合会		○各地区の警察署等からのメール・FAXによる事案・犯罪予防等の通知を利用した情報収集と各家庭への提供を行った。	○加盟園各園において、「あいさつ」の大切さを園児やその家族に伝えていく活動を行った。 ○園の近隣住民の方に対して教職員や園児の積極的なあいさつを心がけた。		○各地区の警察署等からの資料の提供を行った。		
長崎県PTA連合会							○子どもに思いやりの心を育てるために、「第17回いじめ防止標語コンテスト」を実施した。また家庭教育力の向上と親子の絆を深めるために「三行詩コンクール」を実施し、優秀作品を県P連において表彰するとともに日本PTA全国協議会へ推薦した。
長崎県私立中学高等学校PTA連合会	○ココロねっこパレードへの参加及び各私立学校PTAへの参加呼びかけ。	○もってこいネットワーク通信の回覧。					
県民会議壱岐支部	○市内の行事等については、新型コロナウイルス感染症(第5類)に移行後から自粛モードが緩和されており、啓発活動も徐々に活動を開始することで、市民の方にも安全安心なまちづくり意識の向上など推進ができた。	○警察、駐在所、協議会等への参加は、依然として自粛することが多かった。	○会議等は感染症対策を徹底して行うことで、公民館、PTA等とは、電話やSNS等で情報共有し協力して推進を行った。	○公民館長等「こども110の家」の推進活動を実施した。	○ニセ電話詐欺詐欺防止において、「被害防止対策機器」の利用促進に努めた。	○暴追協、防犯協、保護司会等と協力して、暴力追放の啓発を行った。また、警察(駐在所)との連携をとり、暴力追放運動に推進できた。	○壱岐市内の各小学校では、毎年6月頃に「社会研究」課外授業として、各事業所側に協力依頼があり、事業所における仕事内容の説明や体験学習を児童に対して行なった。
県民会議五島支部	○防犯巡視活動時、駐車車両の防犯診断を実施した。 ○防犯パレードへの参加。 ○薬物乱用防止のポスター掲示と街頭キャンペーンへ参加。	○関係団体の会議へ出席。	○児童下校時の見守り活動の実施。		○年金支給日に商業施設での街頭キャンペーンへ参加。 ○警察と連携を取り、ニセ電話詐欺被害防止グッズを作成。	○暴追協と協力して啓発グッズを製作。	